

授業科目名	航空知識Ⅱ						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	塚本裕作・稲葉ひより						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		2	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	実際に空港で働くプロフェッショナルからの授業を通じて、空港での業務内容を理解するとともに、空港業務で起こり得るシチュエーションをイメージしディスカッションを行うことで想像力、実践力・対応力を身につけます。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業 ○	フィールドワーク	
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク ○	ロールプレイ	
	プレゼンテーション ○		PBL		模擬授業	その他	
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	オリエンテーション					
	3～4	航務基礎			① 航務業務全般を理解できる		
	5～6	航務応用			② ランプ業務全般を理解できる		
	7～8	ランプ基礎			③ 給油業務全般を理解できる		
	9～10	ランプ応用			④ 旅客業務全般を理解できる		
	11～12	鈴与エアポートサービス顧問講話			⑤ 航空業務で必要となる、安全品質について深く理解できる		
	13～14	前期確認テスト			⑥ ディスカッションを繰り返すことで、協調性やチームワークとは何か理解出来る		
	15～16	過去の事故を知ろう			⑦ 航空機事故を知り、安全とは何か考え、理解できる		
	17～18	安全とは何か話し合う			⑧ 各分野で使用される航空用語を理解できる		
	19～20	プレゼンテーション					
	21～22	給油基礎					
	23～24	給油応用					
	25～26	旅客基礎					
	27～28	旅客応用					
	29～30	科目終了試験					
成績評価方法	平常点（50％）前期確認テスト（20％）科目修了試験（30％）						
使用テキスト ／教材	教員作成資料						
関連科目	航空知識Ⅰ						
その他							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	GSキャリアデザイン						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子・大橋 美穂子・蓬莱 正樹						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	航空会社への就職を目指し、必要とされる要素をあらゆる面から学びます。また、航空業界への早期就業を見越し、知識の定着と自分の意見を発する力や、社会人としてのマナーやマインドを強化するとともに、体のメンテナンス方も含め、社会人耐久力を身に付けることを目標とします。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業 ○	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク ○	グループワーク ○	ロールプレイ			
	プレゼンテーション ○	PBL	模擬授業	その他			
時間数	内容概略			わかる目標・できる目標			
1～2	社会人としてのビジョン（プラン・デザイン）			①将来のビジョンを明確化できる ②社会人としての意識を形成する ③社会人としてのマナーを身に付ける ④マインドの切り替えの仕方を体得できる ⑤就職先の企業で必要な知識を体得できる ⑥航空運輸業界の実情をあらゆる面から理解できる ⑦航空業界で働くマインドをセットできる ⑧自分の意見を臆することなく発することができる ⑨自分の体と向き合い、健康な生活を送れる方法を体得できる			
3～6	体力維持理解、スキマ時間・場所のボディワーク						
7～8	社会人としてのビジョンプレゼンテーション①						
9～10	体の負担軽減法（体幹・筋カトレーニング）						
11～12	航空運輸業界について①						
13～14	社会人としてのビジョンプレゼンテーション②						
15～16	自分会社の設立						
17～18	栄養バランスを考えた食事法						
19～20	航空運輸業界について②						
21～22	就職活動振り返りスライド作成・リハーサル						
23～24	心のケア（アロマ、ハーブ）、自律神経の理解						
25～26	就職活動振り返り プレゼンテーション（LA1連携）						
27～30	自分会社の設立 プレゼンテーション						
成績評価方法	【前期】プレゼンテーション（30%） 【後期】プレゼンテーション（50%）平常点（20%）						
使用テキスト ／教材	教員作成プリント						
関連科目	GS面接、エアライン筆記対策						
その他	自分の意見を発することを意識して臨んでください。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	TIM応用						
学科・コース	エアライン科/グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	1年次に学んだ「TIMATIC」の読み取りを瞬時にできる速読力を身に付けることを目標とします。さらに、搭乗カウンター業務のロールプレイで、実際に「TIMATIC」を用いて規則を読み取り、お客様へのスムーズな搭乗手続き案内のスキルを身に付けることを目指します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業 <input type="checkbox"/>		調査授業 <input type="checkbox"/>		フィールドワーク <input type="checkbox"/>
	双方向アンケート <input type="checkbox"/>		ペアワーク <input type="radio"/>		グループワーク <input type="radio"/>		ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL <input type="checkbox"/>		模擬授業 <input type="checkbox"/>		その他 <input type="checkbox"/>
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	1年の復習：国籍・行き先は教員が適宜選択					
	5～8	乗り継ぎのあるTIMATICの読み取り			①乗り継ぎ先の入国のルールがわかる		
	9～12	滞在可能期間と査証の有効期限の読み取り			②お客様案内に必要な箇所のルールのみ即座に読み取ることができる		
	13～16	お客様へのルールの案内方法			③滞在可能期間と査証の有効期限の読み取りが即座にできる		
	17～18	前期確認テスト			④チェックインに必要な条件の説明ができる		
	19～22	パスポートチェックとTIMATICの読み取り・お客様案内演習			⑤入国できない場合の説明ができる		
	23～26	チェックインロールプレイ演習			⑥TIMATICを読みながら、お客様案内が同時にできる		
	27～30	科目修了試験（チェックインロールプレイ）			⑦自然な流れでチェックインロールプレイができる		
成績評価方法	前期確認テスト（40％）科目修了試験（50％）平常点（10％）						
使用テキスト ／教材	TIMATIC例文データ、教員作成プリント						
関連科目	TIM基礎						
その他	英和辞書を必ず持参すること。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	エアライン英語Ⅱ						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	松永 清美・関根 由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	エアライン業界への就職に必要なTOEICのスコア600点以上の取得と自己最高得点を目指します。生活や就職先で即戦力として使えるフレーズを習得します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業 <input type="checkbox"/>		調査授業 <input type="checkbox"/>		フィールドワーク <input type="checkbox"/>
	双方向アンケート <input type="checkbox"/>		ペアワーク <input type="radio"/>		グループワーク <input type="radio"/>		ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL <input type="checkbox"/>		模擬授業 <input type="checkbox"/>		その他 <input type="checkbox"/>
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	授業説明・模擬テスト（解答・解説）			①TOEIC各パートの特徴を理解し、基礎的な総合力を高める。 ②英語の音声に近い発音の習得をする ③聴解力を高める ④実際に現場で使えるフレーズや単語を身につける ⑤目標の設定と自己最高点を目指すための課題を把握する ⑥アクティブラーニングを取り入れ、学ぶことに主体性を持つ ⑦時間配分の習得をする		
	7～12	Unit1～2					
	13～18	Unit3～4					
	19～24	Unit5～6					
	25～30	Unit7～8					
	31～32	TOEIC模試（解答・解説）					
	33～38	Unit9～10					
	39～44	Unit11～12					
	45～50	Unit13～14					
	51～58	Unit15・総復習					
	59～60	科目修了試験					
成績評価方法	平常点（50％）授業内小テスト・科目修了試験（50％）						
使用テキスト ／教材	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST INTERMEDIATE はじめてのTOEIC L&Rテスト ハーフ模試3回分 TOEIC L&Rテストレベル別問題集 600点突破 FAST PASS FOR THE TOEIC L&R TEST、キクタンTOEIC (R) L&RテストSCORE 500						
関連科目	エアライン英語Ⅰ						
その他	レベルに応じて2クラス編成。 電子辞書、または英和辞典を持参すること						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	ユニバーサルサービス							
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース							
担当教員	阪本 知恵 ・ 松永 清美							
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位		
演習	・ 講義	2	通年	必修	60	2		
授業目的 到達目標	多様な方々へ向き合うためのマインドと正しい知識を習得し、お手伝いが必要なお客様への気配りや介助方法を学びます。							
授業手法	・ 対面	○	・ 遠隔		・ 対面/遠隔		・ オンデマンド	
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク	○
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ	○
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他	
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標		
	1～4	合理的配慮				①合理的配慮について理解する ②ユニバーサルサービスについて理解する ③車いすの操作・介助が出来るようになる ④視覚障がい者の状況が理解できる ⑤視覚障がい者の介助が出来るようになる ⑥航空会社の対応を知り、安心と安全に繋がる正しい介助方法を身に付ける ⑦高齢者について理解し、介助が出来る ⑧多様性の理解を深める		
	5～8	ユニバーサルサービス						
	9～14	視覚障害者の状況と介助						
	15～16	航空会社の合理的配慮						
	17～22	車いす使用者への介助方法						
	23～30	外部実習予定						
	31～36	高齢者について						
	37～44	高齢者介護施設実習 準備						
	45～52	高齢者介護施設 実習						
	53～56	聴覚障害について・実技復習						
	57～58	総復習						
	59～60	授業内確認テスト						
成績評価方法	授業内確認テスト（50％）平常点（50％）							
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「ユニバーサルサービス」 接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト							
関連科目	手話演習Ⅰ							
その他	※サービス介助士資格保有教員が担当							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	手話演習Ⅱ						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	田宮 裕乃						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	手話演習Ⅰから学んでいる手話奉仕員養成講座を修了して手話奉仕員資格を取得します。様々な場面でろう者と手話で会話ができ、手話で接客できる力を身につけます。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業 ○	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク ○	グループワーク ○	ロールプレイ ○			
	プレゼンテーション	PBL	模擬授業	その他			
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	オリエンテーション・講義「ボランティア活動」					
	3～20	第21講座～第29講座			①手話文法を理解する		
	21～22	第21講座～第29講座 まとめ（ゲスト講師）			②CL表現ができるようになる		
	23～26	講義「障害者福祉の基礎」と文法まとめ①			③RSを理解する		
	27～30	講義「ろうあ運動ときこえない人に関する福祉制度」と文法まとめ②			④手話で話す際のマナーを知る		
	31～46	第31講座～第38講座			⑤障害者福祉の基礎を身につける		
	47～48	第39講座「手話スピーチ」			⑥ろうあ運動・福祉制度について理解する		
	49～50	第40講座「ろう者とディスカッション」ゲスト講師			⑦手話検定3級レベルの技術を身につける		
	51～52	手話奉仕員テキスト総まとめ					
	53～56	手話検定3級単語学習					
	57～58	手話検定3級筆記試験対策					
	59～60	手話検定3級実技試験対策 ゲスト講師					
	成績評価方法	平常点（20％）小テスト（40％）レポート（20％）ホームワーク（20％）					
使用テキスト ／教材	手話奉仕員養成養成テキスト「手話を学ぼう 手話で話そう」 手話奉仕員養成のための講義テキスト（発行：社会福祉法人全国手話研修センター） 講師作成プリント						
関連科目	手話演習Ⅰ						
その他	授業の前に必ず動画視聴をし、講座終了後は動画内のホームワークを実施すること。						

授業科目名	航空予約システム演習Ⅱ						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	1年次に学んだ基本的な予約作成から、運賃計算やSpecial Service Request、Other Service Information等の応用スキルを習得し、実践的に使える操作力を身に付けることを目標とします。9月にはアマデウス検定、Amadeus Reservation Fundamentals に挑戦します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～2	1年次の復習					
	3～4	(SSR) Special Service Request (フリーイベントフライヤープログラム)				①正確なPNRを作成することができる	
	5～6	(SSR) Special Service Request (スペシャルミール)				②迅速にPNRを作成することができる	
	7～8	(SSR) Special Service Request (シートリクエスト)				③Special Service Requestを理解することができる	
	9～10	(OSI) Other Service Information				④SSRを正確に入力することができる	
	11～14	PNR項目のキャンセル・修正				⑤PNRの各項目の修正ができる	
	15～16	前期確認テスト				⑥キャンセルの手順を理解して実行できる	
	17～24	検定対策、模擬試験				⑦検定試験問題を時間内に解くことができる	
	25～28	予約作成応用（お客様対応）				⑧ロールプレイ形式でお客様の対応をしながら予約を作成することができる	
	29～30	科目修了試験					
成績評価方法	前期確認テスト（40％）科目修了試験（50％）平常点（10％）						
使用テキスト ／教材	ユーザーガイド予約・アマデウス予約クイックガイド（amadeus発行） 教員作成プリント						
関連科目	航空予約システム演習Ⅰ						
その他	クイックガイドの見方をマスターすること。						

授業科目名	旅客実習Ⅱ						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	成田 紀子・中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	1年次に学んだ基礎を踏まえ、更に専門的なイレギュラー対応、クレーム対応などを学びます。様々なシチュエーションに臨機応変に対応できるマインドとホスピタリティの育成を目標とします。学外、他コースとの連携授業を通して、実践力・対応力を身につけます。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク ○	グループワーク ○	ロールプレイ ○			
	プレゼンテーション ○	PBL	模擬授業	その他			
授業内容・授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	航空業界の専門略語、国際線到着ゲート業務			① 正しい敬語と接遇用語を場面に応じて使うことができる ② 突然起こるイレギュラーのあらゆる場面で初期対応ができる ③ 仲間同士で協力し顧客満足を高めるための対応ができる ④ お客様への説明力、表現力を高め、ワンランク上の接客対応を習得する ⑤ 館外講座を通して企画力を高め、発信する力を醸成する ⑥ イレギュラー対応後のマインドの切り替えができる ⑦ 手荷物のイレギュラー対応ができる		
	3～4	接遇用語、インフォメーションカウンター業務					
	5～6	小テスト①、クレーム対応（ロールプレイ）					
	7～8	アナウンス、イレギュラー対応					
	9～10	イレギュラー対応（ロールプレイ）、小テスト②					
	11～12	前期確認テスト					
	13～20	LA/LF 学外連携合同実習 準備（ま・あ・る）					
	21～26	カウンタースキルコンペティション準備・本番（企業協賛）					
	27～34	LA/LF 学外連携合同実習 準備（ま・あ・る）					
	35～38	LA/LF 学外連携合同実習（ま・あ・る）					
	39～44	BC（破損、紛失手荷物）対応					
	45～56	LA/LF コース外連携合同実習					
	57～58	科目修了試験					
59～60	総まとめ						
成績評価方法	前期確認テスト（30%）小テスト（2回）（10%）平常点（10%）科目修了試験（50%）						
使用テキスト／教材	オリジナルテキスト・「旅客実習」、教員作成資料						
関連科目	旅客実習Ⅰ、グランドハンドリング概論						
その他	アピアランスを整えて授業に参加すること。制服・スカーフ着用のこと。						

シラバス（授業概要）						2026 年度	
授業科目名	GS接遇中国語						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	楊 移苗						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	2	前期	必修	30	2	
授業目的 到達目標	空港内の基本的な接客会話、アナウンスと突発的なトラブルなどに対応できることを目標とします。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	空港内接客用単語			①空港接客会話文の意味を理解することができる。		
	5～12	空港内接客用会話			②空港内の基本的な接客会話ができる。		
	13～22	空港内接客用アナウンス			③空港内の基本的なアナウンスができる。		
	23～24	スキルコンテスト準備			④演習を通して即戦力を身に着けることができる。		
	25～26	スキルコンテスト			⑤コンテストを通して達成感を実感することができる。		
	27～30	接遇中国語小テスト					
	宿題提出用	sair-yo. ibyo. sist. ac. jp					
成績評価方法	接遇中国語小テスト（50％）平常点・授業態度（50％）						
使用テキスト ／教材	講師作成プリント						
関連科目	旅客実習Ⅰ						
その他							